

愛媛の農林水産業

令和5年3月

愛媛県農林水産部

目 次

I 概 要

1. 愛媛県の概要	1
2. 愛媛県の主要指標	2
3. えひめ農林水産業振興プラン2021	3
4. 行政組織一覧表（農林水産部関係）	5

II 農 業

1. 愛媛県の農業の特徴	7
2. 農業生産の動向	11
3. 農業構造の動向	13
4. 農業農村基盤整備の動向	14

III 林 業

1. 愛媛県の森林・林業の特徴	15
2. 林業生産の動向	16
3. 森林環境税を活用した新たな森づくりの推進	18

IV 水産業

1. 愛媛県の水産業の特徴	19
2. 漁業や漁村の現状と課題	20

V 参考資料

1. 経済活動別県内総生産	24
2. 産業別県内就業者数	25
3. 耕地面積	26
4. 農業産出額	27
5. 主要作目の作付面積（飼養農家数）及び収穫量（飼養頭羽数）	28
6. 農家数及び基幹的農業従事者数	29
7. 林野面積	
(1) 所有形態別林野面積	30
(2) 利用地種別森林面積	31
8. 素材生産	
(1) 主要用途別素材生産量	32
(2) 主要樹種別素材生産量	33
9. 林業経営構造（保有山林面積規模別林家数）	34
10. 育 林	
(1) 造 林	35
(2) 主要樹種別造林面積（人工更新のみ）	36
11. 漁業生産	
(1) 海域別漁業生産量・額	37
(2) 海面漁業種類別生産量	38
(3) 主要養殖業魚類別生産量	39
12. 漁業経営体	
(1) 海域別漁業経営体数	40
13. 漁業就業者	
(1) 海域別性別年齢別漁業就業者	41

I 概 要

I 概 要

1. 愛媛県の概要

<県の変遷>

愛媛県は、古くは「伊予の国」と呼ばれ、旧藩時代は8藩に分かれて治められていたが、明治6年2月、神川県と石鐵県の合併により「愛媛県」が誕生した。なお、この愛媛という県名は「古事記」の「伊予の国を愛比売と謂い」から採ったもので、美しい乙女を意味している。

<位置、自然環境>

本県は四国の北西部に位置し、面積5,676km²（国土の1.5%）で四国全体の約三割を占めている。東西には中央構造線が横断し、北側は瀬戸内海に面した平野が広がり、南側は石鎚山に代表される急峻な四国山地がそびえている。県内は全般的に平坦地が少なく、山地が多い地形となっているほか、波穏やかな瀬戸内海やリアス海岸の宇和海には、200余りの大小様々な島が浮かび、内陸部には雄大な四国カルストが広がるなど、海山両面の自然の景観に恵まれた地形となっており、特に、1,704kmの長い海岸線は全国第5位となっている。

また、本県の気候は、日照時間に恵まれ、年間を通じて温暖であるが、降った雨の多くが、他県に流れるという地形条件のため、古来、水不足に悩まされている。

<県民性、生活>

本県は、今治市付近以東を東予、松山市付近を中予、大洲市付近以南を南予と大きく3つの地域に区分され、それぞれ歴史・風土・文化が異なっている。

県民性についても、よく働き、仕事を楽しむ「活動型」の東予人、機嫌がよく、もの静かな「温和型」の中予人、朗らかで生き生きとしている「陽気型」の南予人の3つに分類することができるといわれている。

瀬戸内海南側の温和な気候に加え、地形的に風・水害も少ないことや、全国平均を上回る高い持ち家率や広い住宅環境、低く安定した物価指数などを総合すると、愛媛県は全国的にみても最も住み良い県の一つと言える。

<産 業>

本県の産業は、東・中・南予それぞれの地域の特性を活かして発展してきた。

東予は、大小多くの製造業が立地する工業地帯が形成され、機械・金属・化学などの重工業のほか、愛媛の代表的な地場産業として長い歴史を誇る造船業や、全国で高い地位を維持している製紙業、タオル製造業などの第2次産業を中心に、中予は本県の政治・経済・文化の中心地として位置づけられ、第3次産業を中心に、また、南予は、段々畑を利用した高品質みかんの栽培や、リアス海岸を利用した全国有数の生産量を誇る真珠・魚類の水産養殖などの第1次産業を中心に発展してきた。

<交 通>

交通体系については、高速道路の南予延伸や地域高規格道路の整備など高速交通体系の形成を図るとともに、国際定期航路線の開設など、近隣アジア諸国との国際交通ネットワークの形成についても取り組んでいる。

2. 愛媛県の主要指標

項目	愛媛県	全国	全国 構成比	全国 順位	資料	
県(国)土面積	567,598ha	37,793,326ha	1.5%	26	令和4年「全国都道府県市区町村別面積調」 (10月1日時点)	
耕地面積 (耕地率)	45,300ha (8.0%)	4,325,000ha (11.6%)	1.1%	30	令和4年「耕地面積(7月15日現在)」	
林野面積	401,018ha (70.7%)	24,770,201ha (65.5%)	1.6%	23	令和2年「農林業センサス」	
就業者数	601,302人	57,643,225人	1.0%	30	令和2年「国勢調査」	
基幹的 農業従事者数 (個人経営)	28,654人 (27年 35,744人) (27年比 80.2%)	1,362,914人 (27年 1,756,768人) (27年比 77.6%)	2.1%	23	令和2年「農林業センサス」 (平成27年「農林業センサス」)	
林業就業者	1,037人 (27年 1,215人) (27年比 85.3%)	43,415人 (27年 63,834人) (27年比 68.0%)	2.4%	14	令和2年「農林業センサス」 (平成27年「農林業センサス」)	
漁業就業者	6,186人 (25年 7,416人) (25年比 83.4%)	151,701人 (25年 180,985人) (25年比 83.8%)	4.1%	6	平成30年「漁業センサス」 (平成25年「漁業センサス」)	
総世帯数	601,402世帯	55,830,154世帯	1.1%	26	令和2年「国勢調査」	
総農家数	34,994戸	1,746,990戸	2.0%	25	令和2年「農林業センサス」	
林家数	18,757戸	690,047戸	2.7%	13	令和2年「農林業センサス」	
漁業経営体	3,444戸	79,067戸	4.4%	4	平成30年「漁業センサス」	
総生産額	51,483億円	5,808,469億円	0.9%	27	令和元年度「県民経済計算」 ※()内は、県内総生産に対する構成比であるため、合計は一致しない。 ※全国は、全県合計値	
第1次産業	805億円 (1.6%)	53,408億円 (0.9%)	1.5%	25		
第2次産業	15,433億円 (30.0%)	1,488,412億円 (25.6%)	1.0%	27		
第3次産業	35,096億円 (68.2%)	4,245,517億円 (73.1%)	0.8%	29		
生産 指 標	農業産出額	1,244億円	88,384億円	1.4%	24	令和3年「生産農業所得統計」
	林業産出額	93.4億円	5,460.1億円	1.7%	15	令和3年「農林水産統計」
	漁業産出額	756億円	12,103億円	6.2%	3	令和2年「農林水産統計」
	製造品出荷額等	38,041億円	3,020,033億円	1.3%	26	令和3年「経済センサス」 ※ 従業者4人以上

注1) () は、上記の母数に占める割合

3. えひめ農林水産業振興プラン 2021

平成 28 年 3 月に策定した、本県農林水産業の基本計画となる「えひめ農業振興基本方針 2016」「えひめ森林・林業振興プラン」「愛顔のえひめ水産振興プラン」が令和 2 年度末で終期を迎えたため、これらに代わって農林水産業を一体的に振興していく新たな計画として、農業・林業・水産業に係る基本方針、プランを一本化した「えひめ農林水産業振興プラン 2021」（計画期間：令和 3～7 年度）を、令和 3 年 3 月に策定した。

(1) プランの方針

農林水産業を取り巻く様々な課題に対し、農業、林業、水産業がこれまで以上に一体となって、特に力を入れて対応すべき共通の取組として、「西日本豪雨災害からの創造的復興」「新型コロナの影響と対応」など 6 項目を設定するとともに、農林水産業を担う「人づくり」、農林水産業で輝く「モノづくり」、農林水産業を支える「地域づくり」を 3 つの柱として、各分野の施策を整理することで、横断的に「儲かる農林水産業の展開」と「農山漁村の活性化」に取り組み、オール愛媛で「愛顔あふれるえひめ農林水産業」の持続的な発展と次世代への継承を目指す。

(2) 主要指標

農業産出額 1,200 億円 (H30 : 1,233 億円)	・生産者や農地面積の減少が進行する中においても、生産効率の向上やブランド力の強化など、 <u>農業の高収益化を進めることで、農業の生産規模の維持を目指す。</u>
林業・木材産業産出額 430 億円 (H28～30 平均 415 億円)	・主伐等による <u>県産材の増産を進め、木材加工など関連産業の取扱量や販売力を強化することで、川上から川下に至る産出額の向上を目指す。</u>
漁業産出額 900 億円 (H30 : 887 億円) ※種苗養殖を含めると 907 億円	・産業基盤を維持するとともに、 <u>意欲ある担い手の確保や新しい養殖技術の開発、販路拡大活動等により、漁家所得の向上を目指す。</u>

※ 品目ごとの生産目標等の個別指標は、愛媛の未来づくりプランや、県果樹農業振興計画、県野菜振興計画、県林業労働力確保促進基本計画などの関連計画で設定

えひめ農林水産業振興プラン 2021 の概要図

西日本豪雨災害からの創造的復興

- ・産地の復旧・復興を進めます。
- ・今後に備え、生産基盤の強靱化、農業保険の利用拡大などに取り組みます。

新型コロナウイルスの影響と対応

- ・影響を受けた品目の需要回復・拡大、生産者の経営の維持・安定に努めます。
- ・消費の変化を捉えた販売方法を普及します。

県産農林水産物の輸出拡大

- ・各国のニーズに対応した輸出の拡大を図ります。

魅力あるブランド産品

- ・「愛」あるブランド産品を先頭に、県産品のイメージ向上を図ります。
- ・次代を担う魅力ある新品種を開発します。

食料自給率の維持・向上

- ・付加価値の高い農林水産業を展開します。
- ・食育・地産地消等を推進します。

「えひめ愛顔の農林水産人」の紹介

- ・元気な生産者の情報を発信します。



農業編



林業編



水産業編

農林水産業を担う「人づくり」

～えひめ農林水産業を支える担い手を確保・育成します～

新規就農・定着の促進、女性農業者の確保・育成、農業保険の普及啓発、多様な人材の活躍促進など

若者や女性の就業促進及び定着、事業体の経営安定化、労働安全性の向上、省力化の推進など

新規就業者の確保・経営の安定化、次世代リーダーの育成、就労環境の改善、労働力の確保など

農林水産業で輝く「モノづくり」

～競争力の高いえひめ農林水産業の生産力・販売力を磨きます～

生産基盤整備、生産力強化、先端技術の活用、普及指導活動の推進、ブランド力向上、輸出力強化など

木材の増産、林道等基盤整備、建築物等の木造化、「媛すぎ・媛ひのき」の販売促進、輸出力強化など

資源管理の推進、新しい養殖技術開発、IT 技術を活用した試験研究、県産水産物の価値創造、輸出拡大など

農林水産業を支える「地域づくり」

～地域でつながるえひめ農林水産業を目指します～

地産地消・食育の推進、多様な交流の促進、荒廃農地対策、防災・減災対策、鳥獣被害対策など

地球温暖化防止対策、災害に強い森づくり、花粉発生源対策、市町との連携、森林環境教育の推進など

漁家経営基盤の維持構築、女性の躍進、漁港の防災対策、内水面漁業の振興、漁村の魅力発信など

主要指標

農業産出額 1,200 億円

林業・木材産業産出額
430 億円

漁業産出額 900 億円

計画期間 令和3年度から7年度まで

愛顔あふれるえひめ農林水産業の持続的な発展・次世代への継承

4. 行政組織一覧表（農林水産部関係）

[令和5年4月1日以降]



